

青蛙おのれもペンキぬりたてか

芥川龍之介

●●● “こじか” な社長の個性心理学(どうぶつ占い)001●●●



「サッカー代表選手のキャラ分析」

背番号 11 番 (注: 個性心理学の 60 のキャラクターの番号) 「正直なこじか」の工藤のぶひと
(注: アラレス代表。個性心理学の講師としても各地遠征中) です。

先日発表されたサッカーワールドカップ代表選手について、個性心理学でキャラクター分析してみました。個性心理学には 12 種類の動物がいますが、代表選手 23 人のキャラクターは以下の通りです。

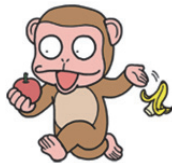
狼 6人 黒ひょう 6人 チータ 3人 ひつじ 2人 ゾウ 2人
猿・たぬき・虎・ペガサス 各1人

12 種類の動物のうち、狼、黒ひょう、チータの 3 種類でメンバーの 3 分の 2 を占めています。動物の個性では、黒ひょうとチータはプライドか高いという特徴を持っています。人一倍負けず嫌いなところが、必死に練習しようという気持ちにつながったのでしょう。狼も 6 人いますが、理由は簡単です。ザッケローニ監督が狼(19 番 (注)「放浪の狼」)だからです。狼同士で気持ち分かり合えるので、監督としては使いやすい選手ということになります。

さらに興味深いところでは、12 種類の動物キャラは、「未来展望型」と「過去回想型」に分かれますが、代表選手 23 人中、なんと約 75% の 17 人が「未来展望型」なのです。「過去回想型」は過去の経験を重んじて石橋をたたいて渡る慎重派ですが、「未来展望型」は過去にはこだわらず未来のことだけを考えて行動する楽観主義者です。試合に負けても、すぐに気持ちを切り替えて次の試合に向けて練習に励むことができる「未来展望型」が代表選手の 75% を占めるとするのは興味深い分析結果ですね。



「未来展望型」ペガサス、狼、こじか、猿、チータ、黒ひょう
「過去回想型」ライオン、虎、たぬき、子守熊、ゾウ、ひつじ



【表記のはなし】

「表記を合わせる」という指定があった場合、どこどこを合わせたらいいのか……
今回はそんなテーマで。

先日、とあるクライアント様からフィードバックがありました。「クレーム」とはおっしゃっていませんでしたが、実質的にはクレーム的な内容です。同じミスは許されないと考え、皆様にお伝えし、注意喚起とする次第です。

フィードバックの内容は「問題用紙の表記と、模範解答の表記が違っていった（片方は漢字、片方はひらがな）」というものでした。国語の抜き書き問題ではあってはいけない見落としです。模範解答が間違っていると、それを使った採点の結果、正解しているはずの生徒さんが得点できないおそ

れがあるという重大なミスです。

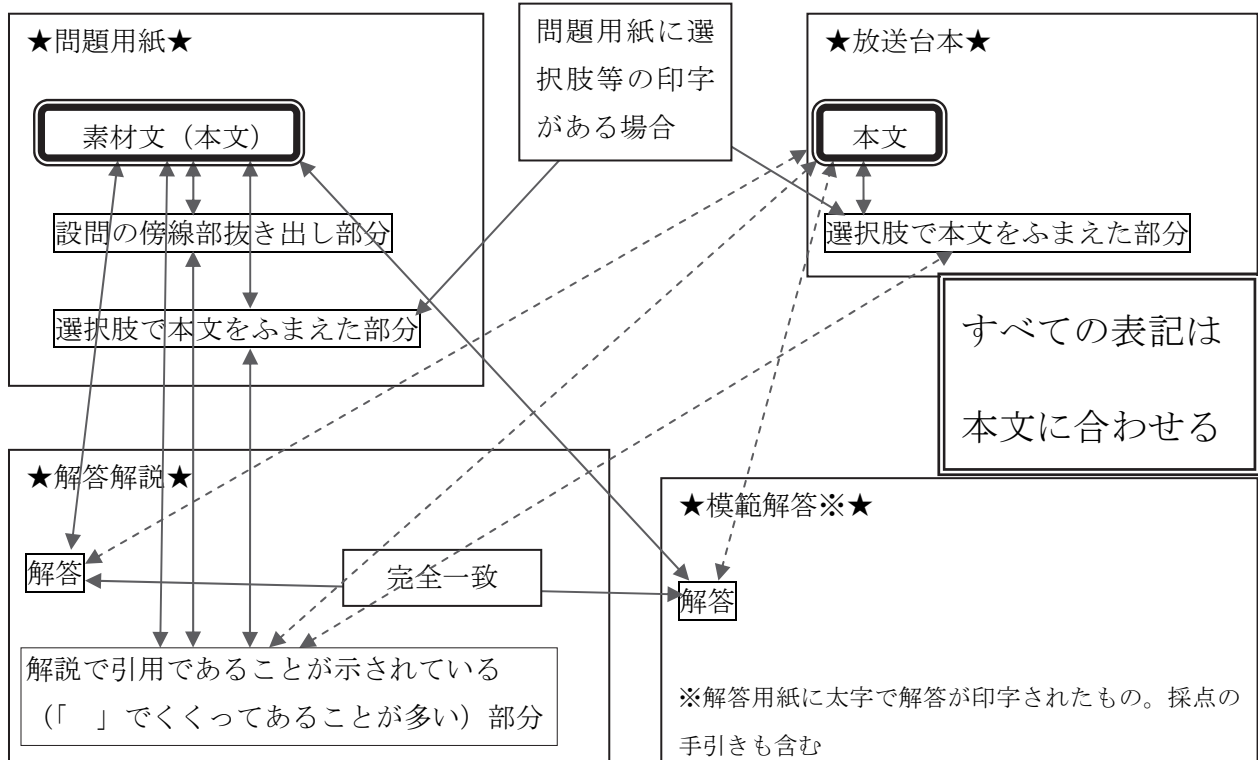
一対一の照合なら、皆様間違いなく見てくださると思うのですが、合わせる対象が多くなると、「AとBは照合したけれどCとは照合していない」などという見落としが発生しやすくなります。

そこで今回は、願いする機会も多く、照合箇所も場合によっては多くなる「模擬試験（国語）」について、「どの種類の校正紙のどこどこを合わせたらいいか」を簡単に模式図にしたものをご覧いただこうと思います。今後のお仕事の際、ぜひご参考になさってください。

【表記照合】

←→ 必ず合わせる

←-----→ 合わせることを望ましい



業務連絡

毎月末には請求書のご提出をお忘れなようよろしくお願いいたします。

ワールドカップが始まりますね。サッカー選手のことには全くわかりませんが、柿谷が私と同じ「面倒見のいい黒ひょう」だそうなので、応援したいと思います。頑張れ、SAMURAI BLUE!



文責：くろへう